

# ふるさと奥尻通信

平成24年12月28日  
奥尻町教育委員会発行  
事務局：01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

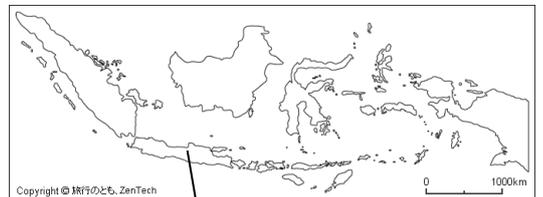
## 巻頭語

気がつけば年末。12月に数度の寒波来襲で、すっかり冷え込んでしまいました。実はお歳暮を奮発しすぎてお財布の方もお寒い状況になったみたいで…。だって島の名産を全国に広めたいもんね。

## 特集 友遠方より来たるーインドネシア漁夫との再会ー

時化の日となった11月27日、朝から奥尻港に100トン型のイカ釣り漁船が次々に入港してきました。登録を見ると、「IKOO」となっていたので、石川県の船だとすぐに解りました。石川の船は昨年と同じ頃にもたくさん避難してきたので、もしや懐かしい面々がいるのではと思い、船員たちに会いに行きました。

近づくと、どうも昨年のメンバーとは違うようです。少々戸惑ってしまいましたが、昨年撮った集合写真を見せるとすぐに「センパイ、センパイ」と言って笑顔が返ってきました。聞くと、去年の面々はだいたい卒業し、母国へ帰ったそうです。彼らは、就職したり、進学したとのことで、漁師になったわけではないようです。今回のメンバーの中には、1人だけ去年も来た漁夫がいましたが、1年経ってなんだかたくましく成長していました。今回も皆19～24歳の若者達で、最初は遠慮して海洋研修センターの前にはたむろしています。話しかけると、愛嬌のある一人が「ニヤサン、サムイ」と言って、ニヤリとしますので、快く中へ招き入れました。



インドネシア全図



ジャワ島全図(旅行のともHPより)



近現代での日本とインドネシアの関わりは、太平洋戦争開戦後の昭和17年1月に日本軍がタラカン島とスラウェシ島に進出したことに始まります。当時、インドネシアはオランダの植民地として300年もの長きにわたり統治されていました。前年に欧米との戦争を始めた大日本帝国は、3月にはオランダを降伏させ、政治犯を釈放し、軍政を敷きました。戦局の悪化とともに軍政は行き詰まりを見せ、軍はインドネシアを国として独立することを認めます。日本の敗戦直後の8月17日に独立宣言をしましたが、オランダは再度統治を目論み、独立戦争が始まりました。最終的に安定した政権となったのは昭和24年のことでした。

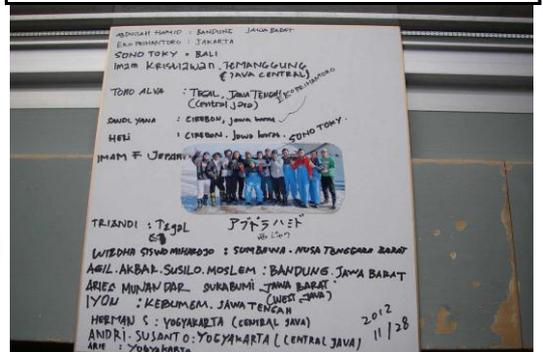
さて、インドネシアが日本に実習生を送り始めたのは、1990年代初めころで、現在では年間300～400人が漁業関係の仕事に携わっているとのことです。主に男性は漁場で、女性は水産加工場で働き、少ない給料を実家に仕送りしている人も多いとか。こっそり、金額をきいてみたら、月に7万円くらいだそうです。けっして楽な生活ではありませんね。

けれども、彼らはすごく人なつっこく、明るいのです。南の国の人は明るいのかな？というのはやや安直ですが、どうせ一度の人生だもの、明るく楽しく生きようよ、ということで、世界中の人間が笑顔で暮らせる努力をしたいものです。

インドネシア語のこんな面白い語呂合わせを見つけました。「飯(めし)はナシ(nasi)、魚はイカン(ikan)、菓子はクエ(kue)、人はオラン(orang)で、死ぬはマテ(mati) マテ」

### ★船員の主な出身地(ジャワ島内ほか)★

西ジャワ	バンドン
西ジャワ	ジャカルタ
西ジャワ	テルボン
西ジャワ	スカブミ
中部ジャワ	テマングン
中部ジャワ	テガル
中部ジャワ	ケブメン
中部ジャワ	ジョグジャカルタ
スンパワ島	西ヌサトゥンガラ
バリ島	



サインもらいました

今回は最近出来上がった品物をご紹介します。手作りの紙芝居台と防災紙芝居です。作者は、奥尻消防署の三浦浩さんで、紙芝居台の作成には、学芸員も協力しました。台は稲穂ふれあい研修センターに眠っていた教材用木材の余りを再利用して完成させたものです。

製作意図を伺うと、「自分の津波体験を子供達に伝える為には、ただ話ただけでは、体験のない子供たちはピンとこないのではないかと考え、紙芝居を製作し、舞台も手作りしました。子供たちが大人になった時に、きちんと避難できるようになってほしい。そして、それをずっと未来に繋げていきたい。紙芝居の絵を通して、わかりやすく説明することで、津波の教訓を生かしてほしいです。」とのこと。来年の7月までには、幼稚園児向けの紙芝居も製作する計画であるそうなので、震災20年の節目には新たなストーリーが始まるでしょう。

実は三浦さん、当初絵が上手く描けなくて苦労したそうです。そんな時に助け船を出したのが奥さんと、色々手伝ってくれたとか。傍らでは娘さんも見守っていたのかな？ こういう共同作業っていいですねー。

この紙芝居、7月12日に奥尻島津波館で一般公開されて好評を博しました。他にも町内の学校や、島外へ出張しての公演もあり、平成24年度より組織された「語り部隊」の活動の一つとしても活躍しています。



製作風景



実演風景

月刊 奥尻のつり 12月号

この冬はカジカ以外にもハチガラが良型です。港ではホッケやアブラコ、カレイなども釣れています。しかしながら、この時期の釣りは寒いですねえ…。手足が痺れて、霜焼けです。これで釣れなかった日には泣き面にハチですね。ハチガラは刺身が美味いんですよ！ 釣りたてを地元のお寿司屋さんへ持ち込んでおいしくいただきました。



奥尻これなんだろう？ 最終回

米岡の山奥に立派な水路があります。さて、どこへ水を引いているのかな？

先月の答え：たぬきの溜糞



「宇宙図」完成！  
 反ら宙収穫で参のたに小フ  
 応れス録ま直加大。よ学オ十  
 がるテさし接し作絵る生一二月  
 樂予しれた描、では作にラ月  
 し定シて。く絵、詩よム十七  
 みでヨ、作手の全縦がる主七日  
 ですン来品法具島五行作催日  
 す。へ夏はにをのmわ画、  
 。宇打にDよ手小xれと町日  
 宙ち国Vりの学横ま中共本宇  
 人上際D行ひ生四し学催宇  
 のげ宇にわらがm生宙



設置された北前船の錨

北前船の錨おめみえ  
 ざれ嘉家と揚ん日のはで錨こ船  
 覧て兵にしがで本で昔使でのの谷  
 あい衛3てつい各す、わ、夕錨地  
 れま資本はてる地。青れ江イがの  
 。す料、いよの北苗た戸プ設T  
 。館函江まう沖前沖も期は置商店  
 旅に館差すで合船でのか鉄さの  
 行1市町。、でが揚でら製れのま  
 つ本のの近た海寄がす明のまに  
 い展高旧くく底港つ。治日した北  
 で示田中のさにしたこ期本した北  
 にさ屋村例ん沈たもれま型。前

本年も終わろうとしております。師走の上に、さらに選挙とミサイル問題で騒がしかった島内、どのような新年となるのでしょうか。個人的には、そろそろ安定飛行に入りたい時期です。そのためには、公私ともに充実させねばなりませんねえ。釣り行ってる場合じゃないのかなあ。いや、ここは仕掛けとエサを工夫してみよう。どれにしようかな…(\*・\_・)／|

新米之記録 (編集後記)

球根植えてみました  
 の誇かねがちなかかたのえに  
 でつか。、よ霧なら。皆まチフ  
 すたり花来つ圃か提球さしユエ  
 。時まの年と気立供根んた。リー  
 のす手の遅。派さはと。リ  
 喜が入春か植なれ稲一作ツ乗  
 び、れがつえ花た穂緒業プり  
 がそは樂たるがものにはの場  
 大の手しよ時咲の高行観球駐  
 き分間みう期きで橋い光根車  
 い咲暇ででがそ、さま協を場  
 もきがすす うなんし会植脇



鴨石トンネル工事 昭和46年